

## 第8回『日本新薬×黒田征太郎 笑顔のアートプロジェクト』開催

### 3月22日(月)、コロナ禍で失われた「笑顔」を子どもたちに届ける 京都市立鳴滝総合支援学校の児童生徒と“笑顔のコラボアート”づくりを実施

日本新薬株式会社（本社：京都市／代表取締役社長：前川重信）は、イラストレーター黒田征太郎氏が日本各地を訪問し、地域の人々が力を寄せ合って病院や介護施設などで絵を描くプロジェクト『日本新薬×黒田征太郎 笑顔のアートプロジェクト』の第8弾を3月22日（月）、京都市立鳴滝総合支援学校・宇多野病院の子どもたちと心齋橋のアトリエ（描場 KAKIBA）とをオンラインで結び、開催しました。

今回一緒に絵を描いた京都市立鳴滝総合支援学校の児童生徒52名は、この1年間ずっと不自由な学校生活を送ってきました。特に、その中の2名の児童生徒は、隣接する宇多野病院で入院生活を送り、学校の仲間たちといつも通りの交流もできずに過ごしてきました。

今回のプロジェクト開催には宇多野病院に入院中の支援学校の児童の1人が「コロナ禍で寂しかった今年最後に、楽しい思い出を作りたい」と学校に呼びかけ、賛同したクラスメイトにより開催が実現したという背景があります。従来のように同じ会場で一緒に絵を描くことはできませんでしたが、「このコロナ禍だからこそ、本活動を実施する意義がある」との考えのもと、「笑顔」で過ごすひとときの交流の場としてオンラインで開催されました。

当日は、事前に児童生徒が色付けしたぬり絵と、黒田さんのライブペインティングで「笑顔のコラボアート」を完成させる新しいスタイルで実施いたしました。徐々に完成していく絵と黒田さんの力強いトークによって約1時間のあいだ、笑顔の絶えないイベントとなりました。完成した大きな絵は、多くの方に見ていただけるよう、鳴滝総合支援学校と宇多野病院に展示される予定です。



[画像のダウンロードはこちらから](#)

## 【参加者の皆さんからのコメント】

### 黒田征太郎 氏

「やはり対面で交流できるのが一番いいが、今回こうした形でもやれたことがよかった。仕上がった絵は、とても説得力のある『良いものになった』と思う。今日は、出会えた子どもたちと今後も交流していくきっかけの日にできればと思っています。」

### 京都市立鳴滝総合支援学校 玉梶香織 校長

「子どもたちは黒田さんが絵を描く様子を画面に食い入るよう真剣に見て楽しんでいました。コロナ禍で交流が持てていませんでしたが、こうした機会を持てて良かったです。また、病院に入院しながら学習を続けている児童生徒や、卒業後は社会にでて就労しようとしている生徒が、ともに学んでいる学校があるということを広く知っていただく貴重な機会になったと感じています。」

### 国立病院機構宇多野病院 療育指導室長 菊池恒成 先生

「コロナ禍で外出できなかつたり、交流を持てなかつたりした1年でしたが、今日は学校だけでなく黒田さんともつながりを持てたとてもいい機会だったと思いました。黒田さんによって子どもたちの絵をより生かした作品に仕上がったと感じています。」

### 日本新薬株式会社 取締役 経営企画担当 枝光 平憲

「オンラインの形での開催には不安もあったが、今日実際にやっているところを見て、コロナ禍でも形を変えて開催できたことは非常に良かったと思っています。やはり子どもたちが笑顔になってくれることが一番であり、今後もこうした笑顔を届けられる取り組みを続けていきたいと思っています。」

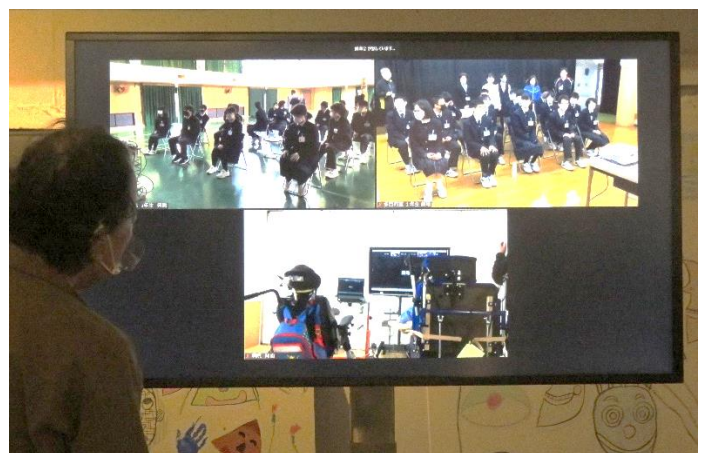
『日本新薬×黒田征太郎 笑顔のアートプロジェクト』は、黒田征太郎氏をリーダーに今後も各地の病院などを訪問し、医師と患者、高齢者、子ども、学生など様々な人たちが一緒に絵を描くことで絆を深め、笑顔になるプロジェクトを目指してまいります。

## 第8回『日本新薬×黒田征太郎 笑顔のアートプロジェクト』概要

- 日 時 2021年3月22日(月) 11:00~12:00
- 開催場所 黒田征太郎氏のアトリエ KAKIBA と京都市立鳴滝総合支援学校、宇多野病院の3か所をオンラインでつないで開催
- 参加者 京都市立鳴滝総合支援学校の子どもたち52名(宇多野病院に入院する児童生徒2名を含む)  
イラストレーター・黒田征太郎氏



黒田さんのライブペインティングの様子



参加する児童生徒の様子

以上